

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成 年 月 日

協議会名: 中井町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
神奈川中央交通西株式会社	<p>運行系統名: 中井町オンデマンドバス (通称:中井ふれあいバス)</p> <p>運行区域: 中井町内全域(乗降ポイント117箇所)と町外5箇所を対象としたデマンド型交通システム(区間運行型)</p>	<p>公共交通空白地域の解消だけでなく、町全体の魅力を高める移動手段として、平成25年1月10日から運行している中井町オンデマンドバスについて、大規模な見直しを実行しない代わりに、より必要とする利用者のための運行体制の見直し・改善(運行エリアや乗降ポイント、予約方法等)を図るため、地域の利用状況を深掘りして分析し、需要予測から持続可能な地域公共交通システムを探る期間とする計画となっている。</p>	<p>A</p> <p>前半においては、利用状況に応じた乗降ポイントの整理を行い、平成28年3月に行った公共交通の利用に関する意識調査の追跡調査アンケートを実施するなど、利用状況や意識を確認するとともに、後半は利用者の属性や利用目的、利用状況等を深掘り分析するとともに、その状況に合ったエリアやルート、利用条件等をシミュレーションし、実態に合わせた運行体制の構築の検討を行っており、計画通り事業は適切に実施された。</p>	<p>B</p> <p>平成29年度(平成29年9月末現在) 利用者数:40.8人/日</p> <p>当初目標とした40人/日以上を上回るが、横ばい状況である。公共交通空白地域や、高齢者、小学生等の移動手段として、事業の認知等により利用者数が維持された。</p> <p>平成29年度(平成29年9月末現在)登録者数:2,916人</p> <p>平成29年度の目標とした3,000人を下回ったが、利用ニーズは高く、登録者は増えている。予約数の限界からくる取りづらさや家族送迎等自動車移動のニーズの高さが鈍化の要因と分析。</p>	<p>利用者数の横ばい状況は、利用者がいないからではなく、現行の運行体制では物理的に可能な予約数の限界に達していると分析している。この課題を改善するため、公共交通をより必要とする町民(運転免許がない、公共交通による移動手段がない人等)に利用してもらう、量より質の運行体制を検討する。</p> <p>平成30年度より運行エリアを絞り、運行の回転数増加や路線バスとの乗継促進などを図る見直しの方向性を出した。その利用状況の検証を行いながら、これまで登録したが利用がなかった層の利用を促しつつ、利用状況の実態にあった運行計画の見直しの検討を進める。</p>

【各評価項目の評価基準】

④事業実施の適切性

- A…事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。
- B…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。
- C…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった。

⑤目標・効果達成状況

- A…事業が計画に位置付けられた目標を達成した(する見込み)。
- B…事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった(一部達成できない見込み)。
- C…事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)。